



ユニバーサル・ビジネス・テクノロジー 株式会社

UNIVERSAL BUSINESS TECHNOLOGIES CORPORATION

Book Copy Station ユーザー導入事例



公益財団法人

野球殿堂博物館

1959年6月に日本初の野球専門博物館として開館。1988年東京ドーム内に移転。野球界の発展に貢献し功労者として表彰された「野球殿堂入りの人々」の肖像レリーフを飾っている他、プロ・アマを問わず野球の歴史資料から話題性の高い資料を数多く収蔵・展示。収蔵品は実物及び写真を含め約4万点、また、野球その他のスポーツ関連図書を約5万点所蔵している日本で唯一の野球専門博物館です。



所在地:〒112-0004 東京都文京区後楽 1-3-61

Bookeye® 4

ドイツ Image Access 社のブックスキャナー。A3+、A2、A1 サイズ対応の3機種をラインナップ、国内外の図書館、大学、書籍電子化プロジェクトで数多く使用されています。



こちらから BCS の動画やパンフレットがご覧いただけます。

公益財団法人野球殿堂博物館（以下野球殿堂博物館）では、展示室と併せて図書室があり、野球を中心にスポーツ関係の図書、雑誌など約5万点を所蔵しています。野球に関する資料は、プロ野球をはじめアマチュア野球、大リーグ、韓国や台湾の資料も所蔵しており、その蔵書数は国内でもトップクラスでマスコミ関係者や一般の方々に広く利用されています。

例 野球界 1911年～1959年、ベースボールマガジン 1946年～現在、報知新聞 1950年9月～現在 など

また、利用者に対するサービスとして複写サービスも提供されています。今回、既存システムの老朽化にともない新しい機器としてユニバーサル・ビジネス・テクノロジーの Book Copy Station（以下 BCS）が採用されました。

採用のポイント

- 新聞片面（A2 サイズ）相当のスキャンが可能であること。
- 光学解像度 400dpi 以上で高精細なカラー / 白黒スキャンが可能であること。
- オープンシステム対応で既存の複合機に LAN 接続が可能であること。
- スキャンしたデータを LAN 上に構築されたストレージシステムや PC にデータ転送が可能であること。
- V 字クレードルを装備し、貴重書に与える負荷を最小限で複写を行えること。
- タッチスクリーンが使える、操作が簡単であること。

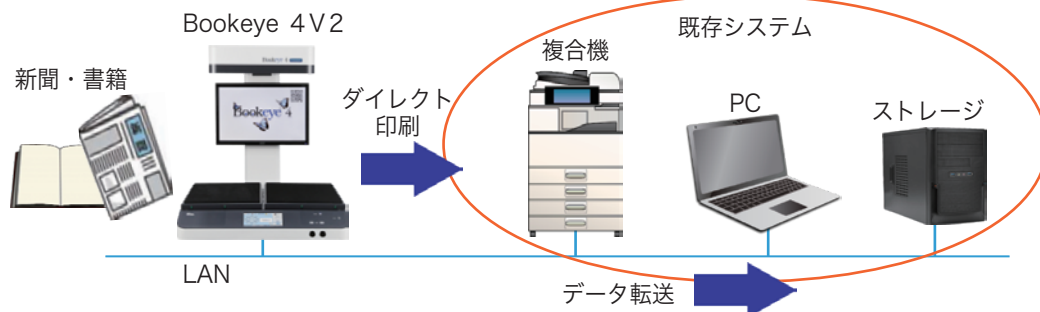


製本されたタブロイドサイズ新聞のスキャン



BCS は国内外で多くの実績を持つ Image Access 社の Bookeye 4 をスキャナーとして採用することで、上向きスキャンで本に優しい複写の実現と既存システムへの融合など様々なニーズに適合いたしました。また、前面のタッチスクリーンからの簡単な操作で印刷だけではなく PC やストレージへのデータ出力や USB への出力なども可能になります。野球殿堂博物館では BCS の導入が利用者の方々へのサービス向上につながるとともに今後は書籍電子化の検討も開始する予定です。

BCS システムと稼働環境イメージ



○製品の仕様・内容および外観は予告なく変更されることがございますので、予めご了承ください。○会社名・製品名は各社の商標もしくは登録商標です。○このパンフレットの記載内容は、2015年6月現在のものです。

■輸入・発売元



ユニバーサル・ビジネス・テクノロジー株式会社

〒100-0005 東京都千代田区丸の内 1-6-5 丸の内北口ビル 12F
TEL 03-3287-1170 FAX 03-3287-1171
URL: www.ubtc.jp sales@ubtc.jp

■お問い合わせ